

被爆80年特別企画 報道写真展

# 戦争と平和

## War and Peace

Special project  
for the 80 years  
since the atomic  
bombing

2025.

6.12(木) — 23(月)

10:00~17:00 会期中無休

会場:旧日本銀行広島支店

**入場無料**

(広島市中区袋町5-21)

主催/公益財団法人新聞通信調査会、中国新聞社

後援/広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、

広島県観光連盟、広島観光コンベンションビューロー、中国放送、

広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、

FMちゅービー76.6MHz(予定)

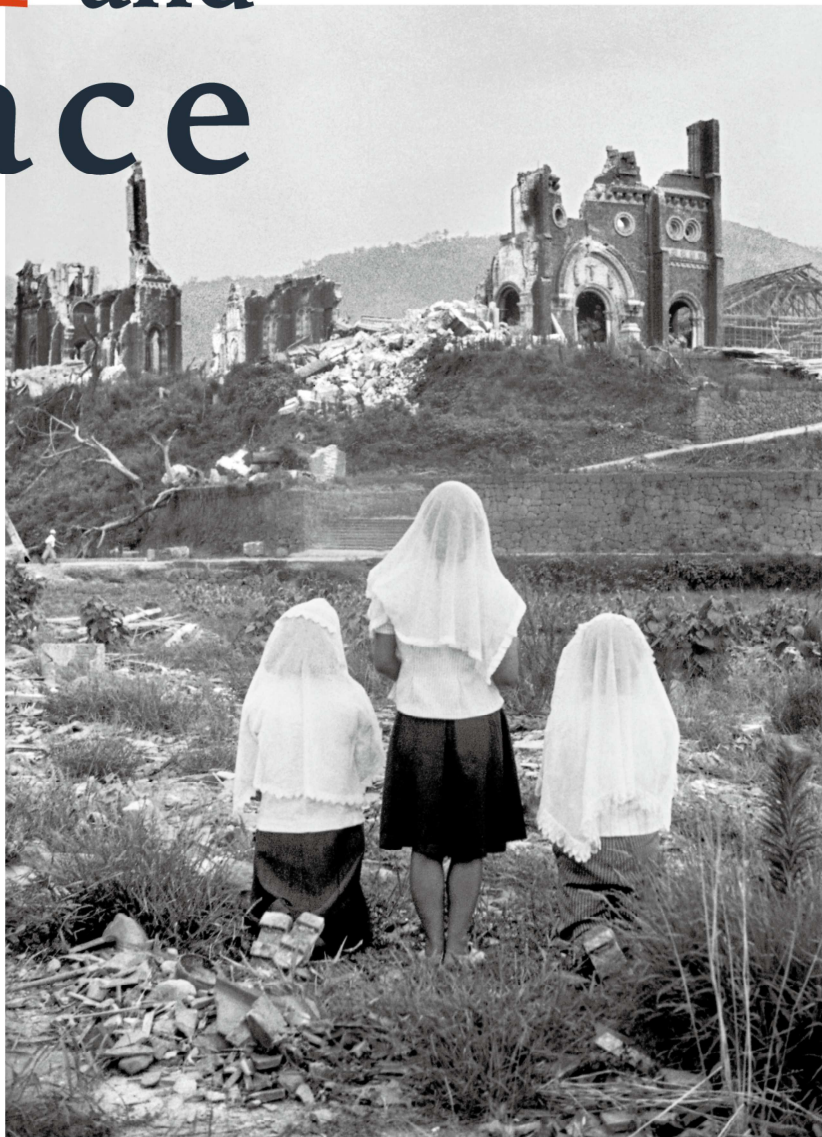
協力/共同通信社



平和文化月間



広島原爆から1年(1946年8月5日、共同通信撮影)



倒壊した浦上天主堂跡(長崎)で祈り(1946年8月、共同通信撮影)



# 戦争と平和 War and Peace

Special project for the 80 years since the atomic bombing

「平和」って何だろう——

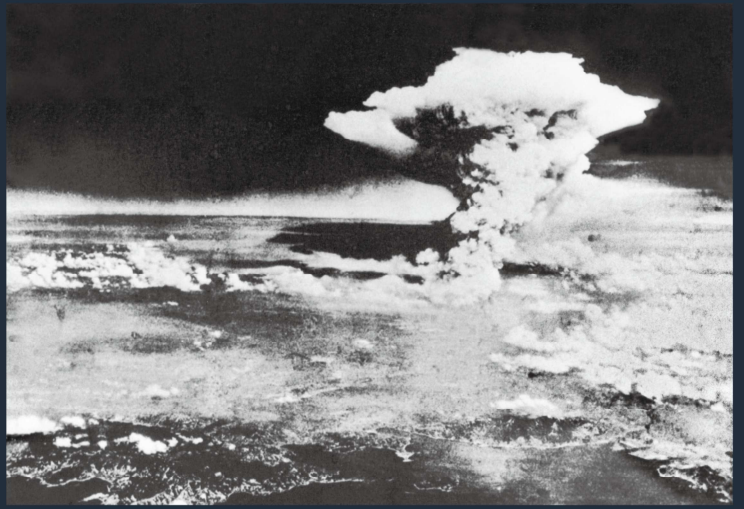
## 被爆 戦後 80年を報道写真で振り返る

1945年8月15日の終戦から、間もなく80年を迎えます。あれからの長い間、日本は直接の戦禍を被ることはありませんでした。しかし世界に目を転じると、この間も戦争や武力紛争は絶え間なく続き、国内でも安全保障や世界の戦争をめぐる大きな議論がしばしば巻き起こりました。

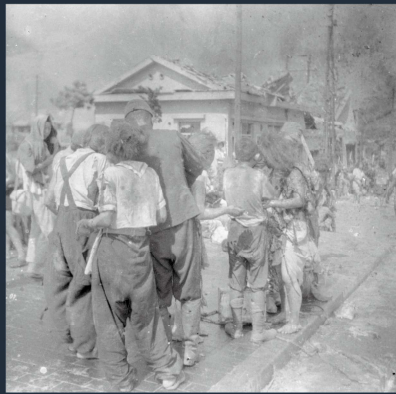
今年1月、東京で開催した報道写真展「戦争と平和—80年の記憶—」は太平洋戦争前夜から今日までの歴史的瞬間を切り取った107枚の写真を多くの方にご覧いただきました。

本写真展を、世界で初めて原爆が投下された都市、広島に場所を移し被爆80年特別企画として開催します。

中国新聞の紙面や写真を加え、「戦争と平和」との関わりを見つめ直し、過去を振り返るとともに、報道写真という記録が語る平和への想いを未来へと紡ぎます。



広島原爆のきのこ雲 (1945年8月6日、米軍撮影)



被爆当日の広島市民の惨状 (1945年8月6日、松重美人氏撮影、中国新聞社所有、日本写真保存センター保管)



国会議事堂前で安保関連法に抗議 (2015年8月30日、共同通信撮影)



広島原爆さく裂直後のきのこ雲 (1945年8月6日、山田精三氏撮影、中国新聞社所有)

・プロローグ：80年の時を経て

・第1章：過信の果て

・第2章：「平和国家」の虚実

・第3章：混迷の時代

・エピローグ：戦火の子どもたち

・広島企画：被爆地と新聞社



広島で被爆者を抱きしめるオバマ米大統領 (2016年5月27日、共同通信撮影)



ガザへの攻撃停止を求めキャンドル集会 (2023年11月26日、共同通信撮影)

関連イベント／会場はいずれも旧日本銀行広島支店

### オープニングコンサート

6月12日(木) 18:00~

出演：エリザベト音楽大学 演奏学科教員



ヴァイオリン 甲斐摩耶 (准教授)



フルート 万代恵子 (准教授)



テノール 升島唯博 (専任講師)



ピアノ 小蔭寛二 (専任講師)



明子さんの被爆ピアノ 撮影：中興岳生

明子さんの被爆ピアノ

1926年に米国のボールドウィン社で製造され、同じ年にロサンゼルスで生まれた河本明子さんが愛用していました。家族とともに広島に移り住んだ明子さんは1945年8月6日の原爆投下で被爆。翌7日に19歳の生涯を閉じました。自宅にあったピアノは爆風により多くのガラス片で傷つきましたが、2005年に困難な修復作業を終え、美しい音色を取り戻しました。以来「被爆遺品」として平和の調べを奏でています。

※ピアノは一般社団法人HOPEプロジェクトが所有・管理し、広島市平和記念公園内のレストハウスで常設展示されています。

### 対談／「ヒロシマで世界の平和を考える」

6月16日(月) 11:00~



共同通信編集委員兼 論説委員 太田昌克氏



中国新聞社ヒロシマ 平和メディアセンター長 金崎由美氏

公式 WEBサイト (日本語・English)



### 会場：旧日本銀行広島支店

(広島市中区袋町5-21)

【アクセス】広島駅から広島電鉄電車(路面電車)広島港(宇品)行「袋町」下車

